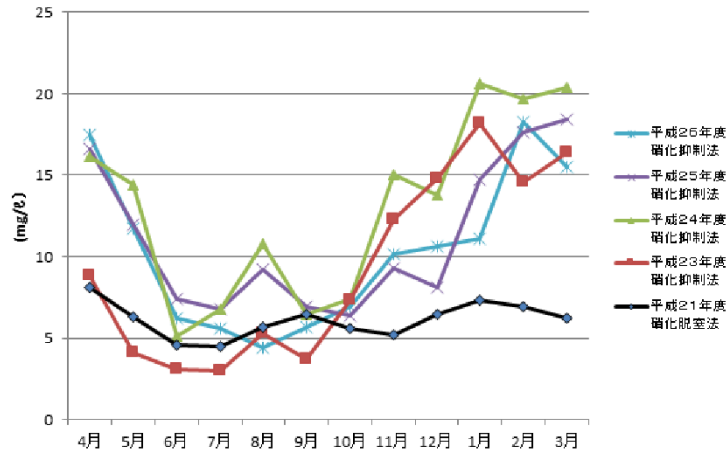


【2-6】

湾・灘の区分	備讃瀬戸
取組の名称	下水処理場における栄養塩類管理運転(香東川浄化センター)
事業期間及び事業費	事業期間: 平成23年10月～継続中 事業費: 無し
事業体制	高松市下水道施設課 香東川浄化センター
事業の背景・目的	近年、ノリの色落ちが問題化しており、漁業関係者から栄養塩類を多く放流してほしいとの要望があったことから、季別運転を平成23年度から試行的に開始した。
事業場所の詳細	 
事業内容	<p>冬季(11月～3月)のノリ養殖時期に合わせて香東川浄化センターの硝化抑制を行い、放流水中の窒素を増加させる運転を試行している。</p> <p>処理フロー ※流入下水、初沈流出水流入槽は◎</p> <p>通常時           ◎嫌気   好気   ◎嫌気   好気</p> <p>栄養塩増加時   ◎嫌気   嫌気   好気   好気</p>
効果・影響のモニタリング手法(時期、場所、項目、把握すべき事項等)	放流水及び放流先海域の水質調査を運転管理時に実施している。水質検査項目は窒素分(アンモニア性窒素、硝酸性窒素、亜硝酸性窒素、全窒素等)。

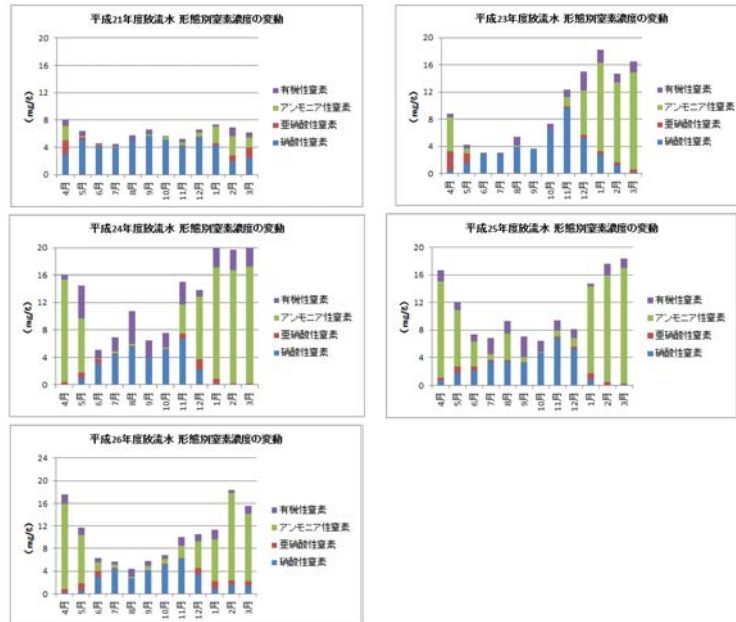
(続き)効果・影響のモニタリング手法(時期、場所、項目、把握すべき事項等)

【放流水質データ(平成24年度)】



出典:「香東川浄化センターにおける季別運転の実施状況について」(香川県土木下水道課、平成 27 年 12 月 17 日)

図 放流水中の窒素濃度の経年変動



出典:「香東川浄化センターにおける季別運転の実施状況について」(香川県土木下水道課、平成 27 年 12 月 17 日)

図 季別運転前(H21)と実施時(H23～26)の放流水中形態別窒素濃度の変動

取組による効果・影響及びその判断基準等	季別運転による効果・影響の確たる判断基準はないが、現時点でノリの色落ちに関して、状況悪化の報告はない。
モニタリングの留意点等	効果・影響等については特段のモニタリングを行っていない。
現状での課題	ノリの色落ちに関して季別運転との因果関係が定かではなく、赤潮の発生への影響も考慮して実施する必要がある。
今後の予定等	令和元年度においても実施予定。
取組事例についての発表資料等	「香東川浄化センターにおける季別運転の実施状況について」平成 27 年 12 月 17 日香川県土木部下水道課作成資料
情報提供元	高松市 都市整備局 下水道部 下水道施設課